

青森県肝炎対策協議会での肝炎総合対策の 見直しに係る意見への対応等

● 青森県肝炎対策協議会での肝炎総合対策の見直しに係る意見

No.	内容	意見	総合対策への反映方法
1	【指標】 ウイルス性肝炎死亡率について	死亡診断書の書き方の問題があり、実際にウイルス性肝炎で死亡した人の数はほとんど入っていないのではないかと考えられる。指標に入れられない方がいいと考えられる。	御意見を踏まえ、指標としないこととしました。
2	【指標】 肝がんの年齢調整罹患率について	罹患率は高くないが死亡率が高いという青森県の現状を考えた時に、罹患率を下げるということを指標に掲げた方がいいのかどうか悩ましい。	御指摘のとおり、肝がんの死亡率が高いという本県の実情を踏まえ、罹患率を減少させていく取組を継続していくことが重要であることから、指標としました。
3	非ウイルス性の肝がんについて	近年、非ウイルス性の肝がんが増えてきている。肝がんの死亡率を減少させるためには非ウイルス性肝がんについての対策も必要と考える。	青森県肝炎総合対策本文中の「(7)その他肝炎対策の推進に関する重要事項 ②肝硬変及び肝がん患者に対する更なる支援の在り方」に、「 イ 今後の対応 (ア) 近年、生活習慣病等を起因とする非ウイルス性の肝硬変や肝がんが増加していることから、原因や予防方法等についての周知に努めます。 」と追記しました。